

令和3年8月24日(火) 第2学期始業式 式辞

今日を迎えるに当たり、津商の生徒全員が命に関わるような大きな事件・事故に遭うこともなく2学期始業式を迎えることができたことを皆さんと共に喜びたいと思います。この夏休み、有意義な時間となったでしょうか？

しかし、周りを見渡してみると今年の夏は大雨による被害が各地で多発している状況があります。経験が通用しない時代。異常気象が常態化する新たな時代になったといえるかもしれません。また、新型コロナウイルス感染症の拡大も不安です。岡山県にも8月20日から「まん延防止等重点措置」が適用されました。その結果、全県的にオープンスクール等が中止になり、本校でも同様の措置をとっています。これからの2学期は百周年の記念式典や学校行事等の実施において、苦しい状況が続くと思います。昨年度以上に対策を工夫してみなさんと共に頑張っていきたいと思います。

そして、こういう時代だからこそ、いつも言いますが「自分でしっかりと考え、判断し、行動することが大切」になってくるのではないのでしょうか。そのために「学び」は必要で、学校は必要なのです。

心配の種は尽きませんが、ただ、防げるものもあるように思います。感染症対策に関して言えば、やはり感染力が格段に強い変異株に対して、昨年度以上に密閉・密集・密接という三密の回避ではなく「一密でもだめ」に改め、手指消毒及び適切なマスクの着用をすることが大切だと考えます。「自分の命を守り、大切な人の命を守る」この気持ちをみなさんに持ってもらいたいと思います。命の大切さを再認識してください。今後みなさんとともに厳しい決断をする場面があると思いますが、この津山商業が苦しんでいる人たちの思いやることができる学校であり続けるように願っています。

この夏季休業中にうれしいこともありました。本校の生徒の活躍を紹介します。

まず、弓道部個人全国準優勝森岡君おめでとう。また団体での決勝トーナメント進出もみごとでした。森岡君が頑張ったのはもちろんですが、団体戦のメンバーの支えや顧問の先生方の支えが素晴らしかったと思います。この快挙はチームの力を個人に、また個人の力をチームに活かした結果だと思っています。お互いを認め合い、支え合う。これこそが今の時代に一番大切なことなのかもしれません。次に吹奏楽部の全国総合文化祭への出場。最高の演奏。最高に優しい思いやりにあふれた演奏ができたと聞いています。個人個人の演奏がチーム一体となり、全員が調和するという素晴らしい経験を積めたことと思います。それが今回、県吹奏楽コンクール金賞へもつながったのだと思います。この経験は何物にも代えがたい大切なものです。一生の宝物としてください。

また、生徒商業研究大会では本校が県3位となり優良賞をいただいたと聞いています。これも、自分たちの研究を他の人にきちんと伝えるという難しい作業がチームでできた結果だと思い、うれしくなりました。個性や発表の役割はそれぞれ違うけれども一つの目標に向かってみんなが同じ方向を向いた結果だと思います。陸上競技の小林君も100m県3位と聞いています。おめでとう。

他にも、進路で頑張っている3年生や自彊祭の準備で頑張っている生徒、補習や部活動で頑張っている生徒などを見かけました。それぞれの頑張りが自分の成長へとつながり、他への励ましや応援になればいいと思います。また、弓道や吹奏楽をはじめとする部活動はそれらを育む文化がこの美作の地にあったからこそです。それらを培ってきた先人の功績に思いをはせる2学期になればいいと思います。そして、その思いを心に持ちながら、自彊祭や百周年記念式典をみんなの力で成功させ、一生に一度の素晴らしい経験を積めるよう頑張りましょう。

さて、みなさんが工夫した特別な自彊祭が始まります。自彊祭ニュースにはこう書いてあります。「今年も感染症対策をしながらの自彊祭！テーマには「100年目の節目に新しいスタートを切れるように」という思いがあります。例年ではできない工夫をして、みなさんの記憶に残る最高の自彊祭にしましょう。」これから色々と準備等で忙しくなってくると思います。生徒会ならびに3年生のリーダーシップのもと、全校生徒一丸となって盛り上げてもらいたいと思います。しかし、学校行事を創り上げていく中で、しっかり考えて判断し、行動しても難しいことは次々に起こります。その時のために一つだけ覚えてください。いつも言う言葉ですが「ありがとう」は人と人をつなぐ接着剤であり、「我慢」は潤滑油。「それでは、全校生徒一人ひとりがそれぞれの目標に対し、粘り強く、最後まであきらめず、悔いを残さない2学期となるようお互いに頑張りましょう。

最後にもう一度、徹底した感染症及び熱中症対策を2学期も引き続きよろしくお願いします。終わります。